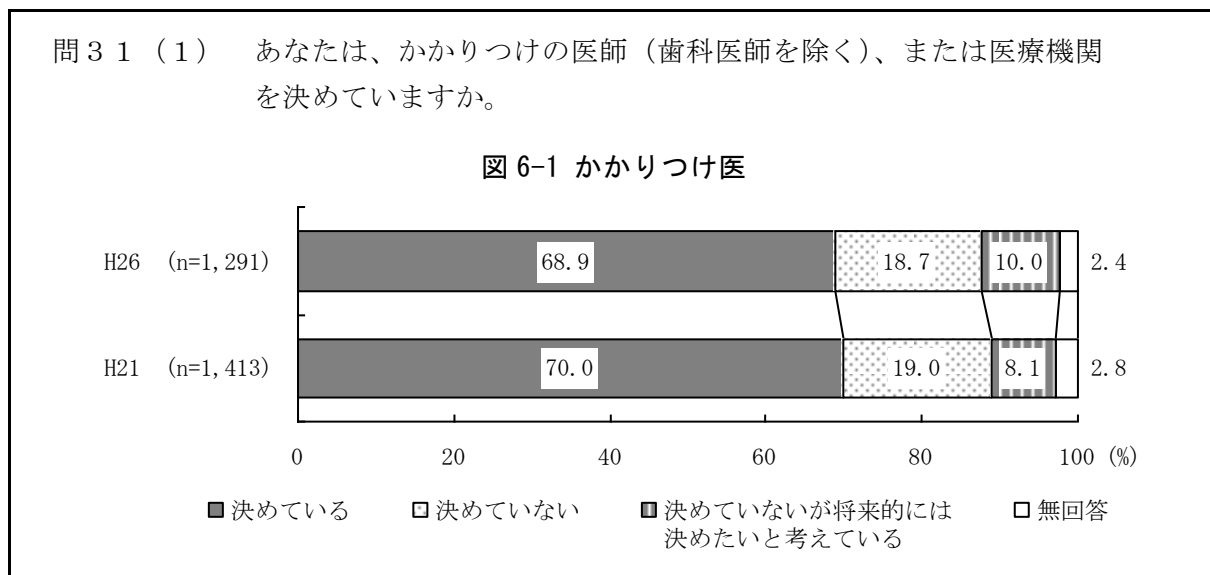


## 6. かかりつけ医や医療機関について

### (1) かかりつけ医

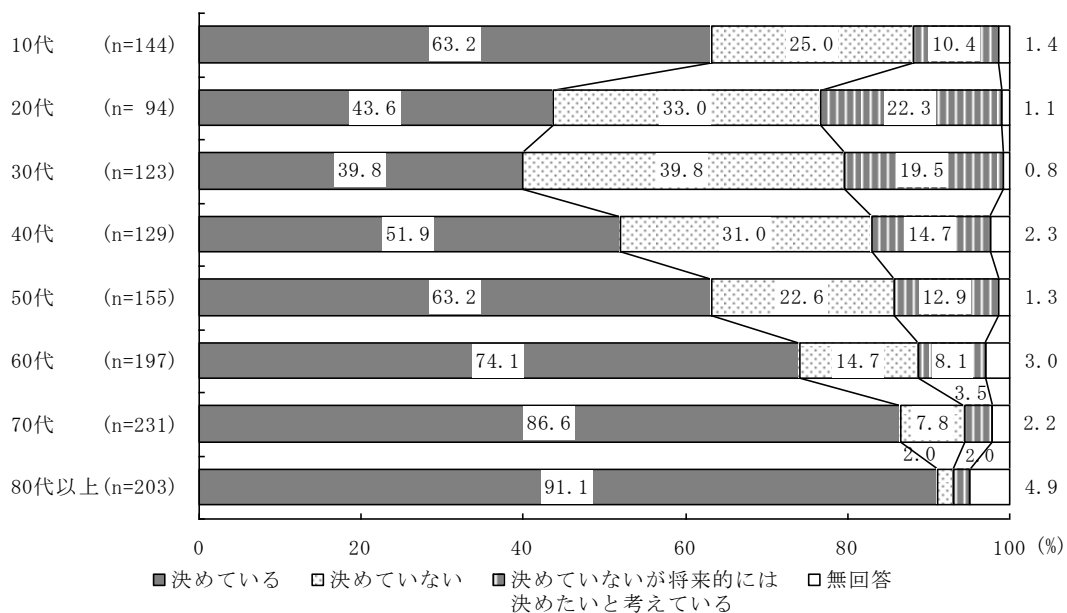
—約7割の人が、かかりつけ医を決めている—



かかりつけの医師（歯科医師を除く）または医療機関を決めているか聞いたところ、「決めている」が68.9%、「決めていない」が18.7%、「決めていないが将来的には決めたいと考えている」が10.0%であった。前回調査と比較すると、「決めている」の比率がわずかに下がっているものの、同じ様な回答結果である（図6-1）。

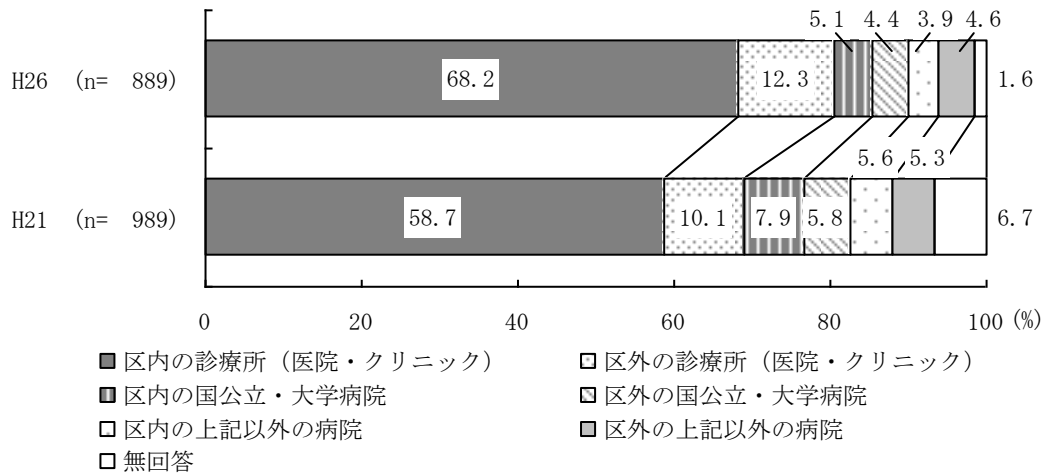
年代別にみると、30代以上では年齢と比例して「決めている」と回答した比率が高くなっている。また、20代では「決めていないが将来的には決めたいと考えている」が他の年代よりも高く、22.3%であった（図6-2）。

図 6-2 かかりつけ医（年代別）



問31(2) (1)で①と答えたかたにお尋ねします。そのかかりつけ医は、次のうちどれですか。(○は1つ)

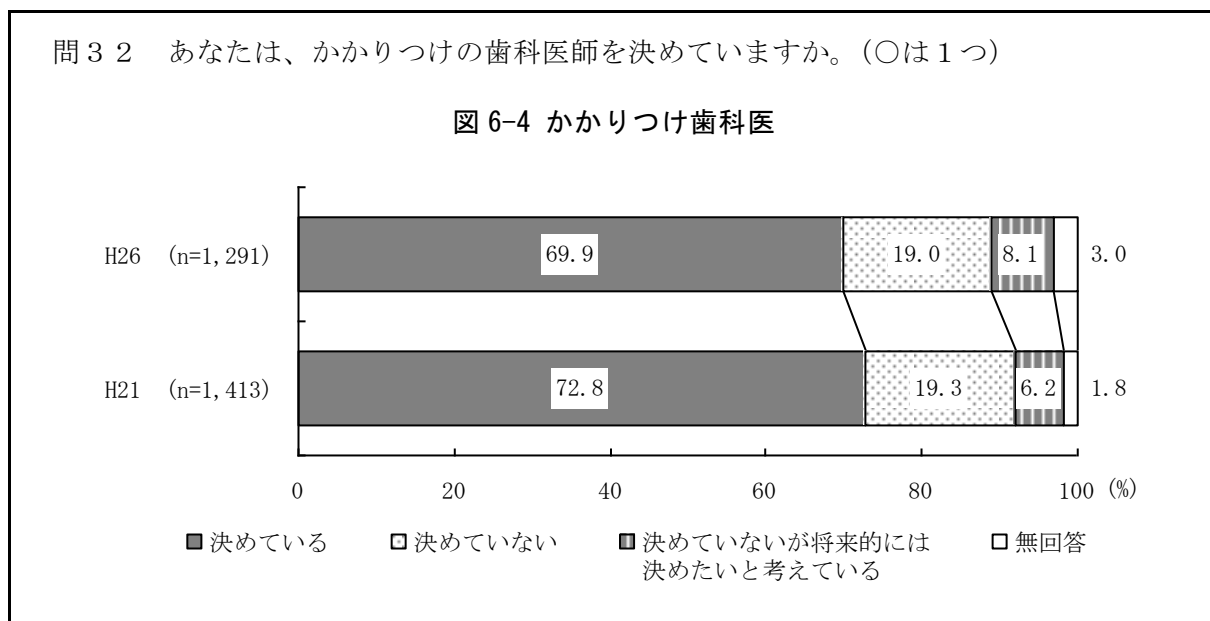
図6-3 かかりつけ医の種類



問31(1)で「決めている」と回答した人に、そのかかりつけ医について聞いたところ、「区内の診療所 (医院・クリニック)」(68.2%)が最も高く、次いで「区外の診療所 (医院・クリニック)」(12.3%)、「区内の国公立・大学病院」(5.1%)の順となり、半数以上の人々が「区内の診療所」をかかりつけ医としている結果となった。前回調査と比較すると、「区内の診療所 (医院・クリニック)」の比率が増加している (図6-3)。

## (2) かかりつけ歯科医

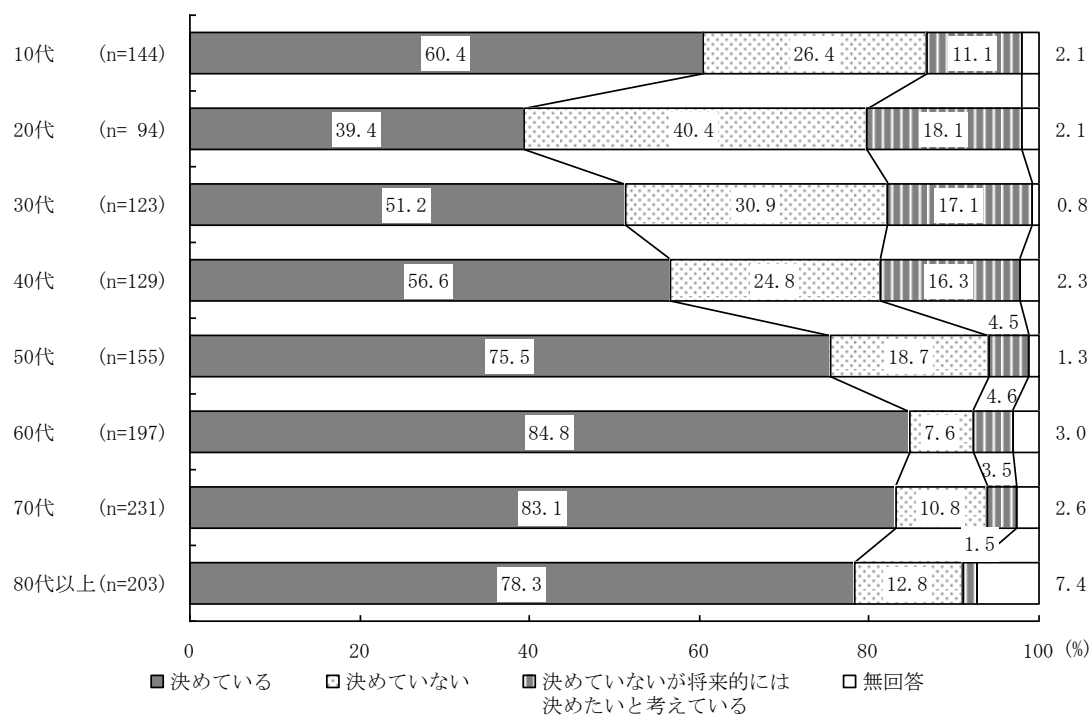
—約7割の人が、かかりつけ歯科医を決めている—



歯科のかかりつけ医を決めているか聞いたところ、「決めている」が69.9%、「決めていない」が19.0%、「決めていないが将来的には決めたいと考えている」が8.1%であった。前回調査と比較すると、「決めている」の比率がわずかに減少している(図6-4)。

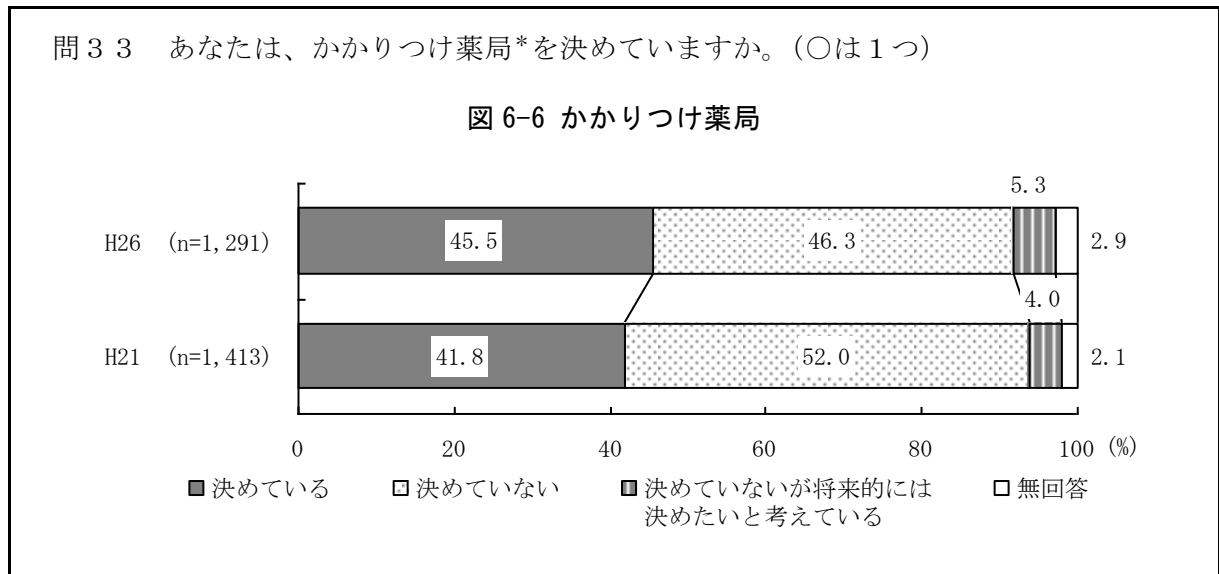
年代別にみると、50代以上では7割以上の人が「決めている」と回答しているが、20代では4割程度であった(図6-5)。

図6-5 かかりつけ歯科医(年代別)



### (3) かかりつけ薬局

－ 5割近くの人が、かかりつけ薬局を決めている－

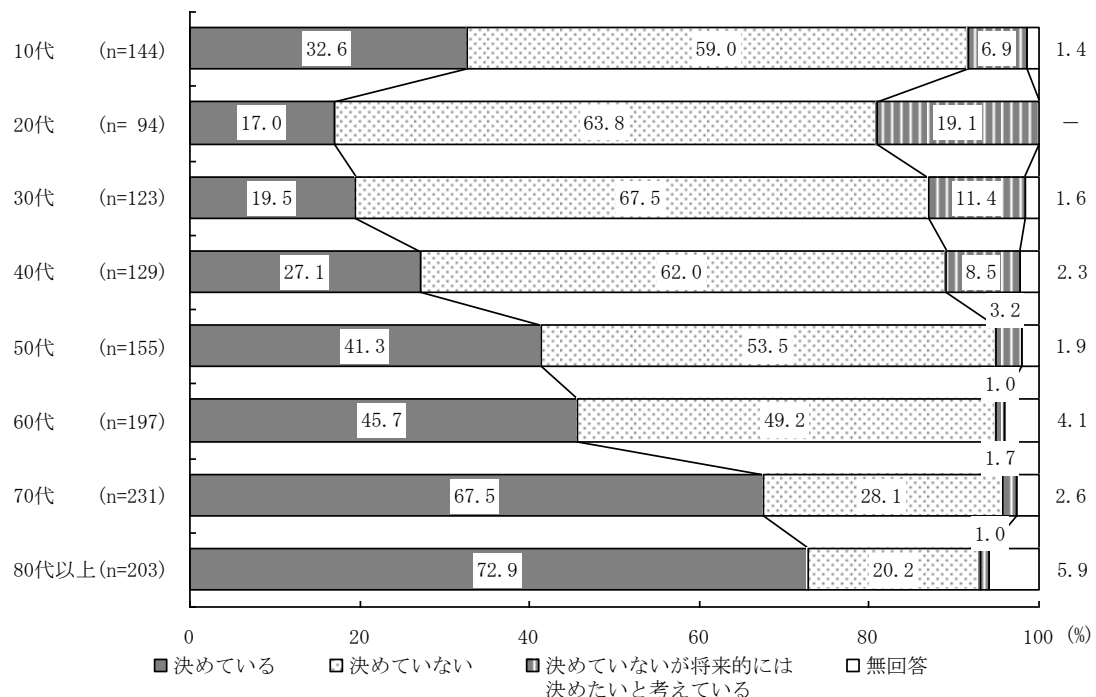


\* 「かかりつけ薬局」とは、薬や健康のことを、信頼して相談できる調剤薬局のことをいいます。

かかりつけ薬局を決めているか聞いたところ、「決めている」が45.5%、「決めていない」が46.3%、「決めていないが将来的には決めたいと考えている」が5.3%であった。前回調査と比較すると、「決めている」の比率が増加している(図6-6)。

年代別にみると、20代以上では、年齢と比例して「決めている」が高くなっている(図6-7)。

図6-7 かかりつけ薬局(年代別)

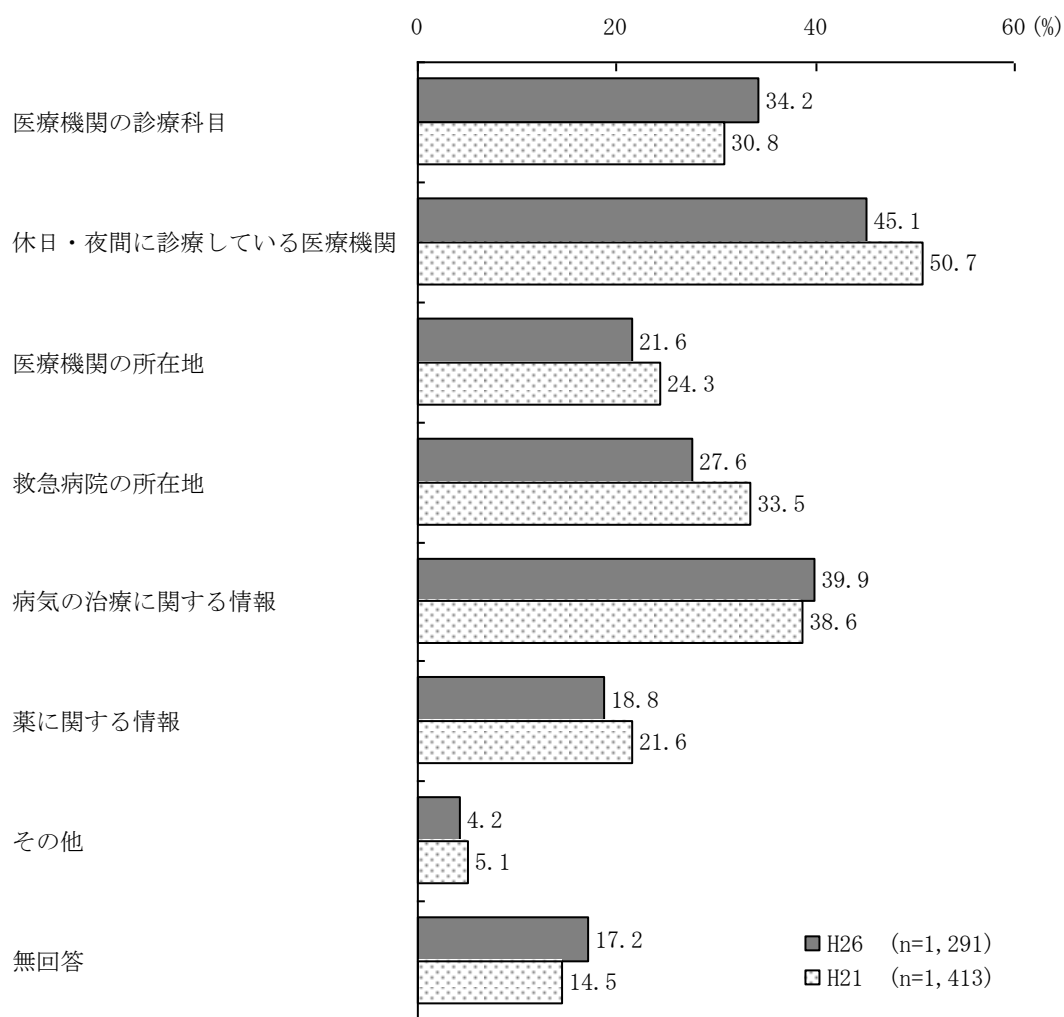


#### (4) 医療情報

－ 4割以上の人が、「休日・夜間に診療している医療機関」の情報を欲している－

問3 4 医療に関する情報として、知りたいことは何ですか。  
(当てはまるものすべてに○)

図 6-8 医療情報



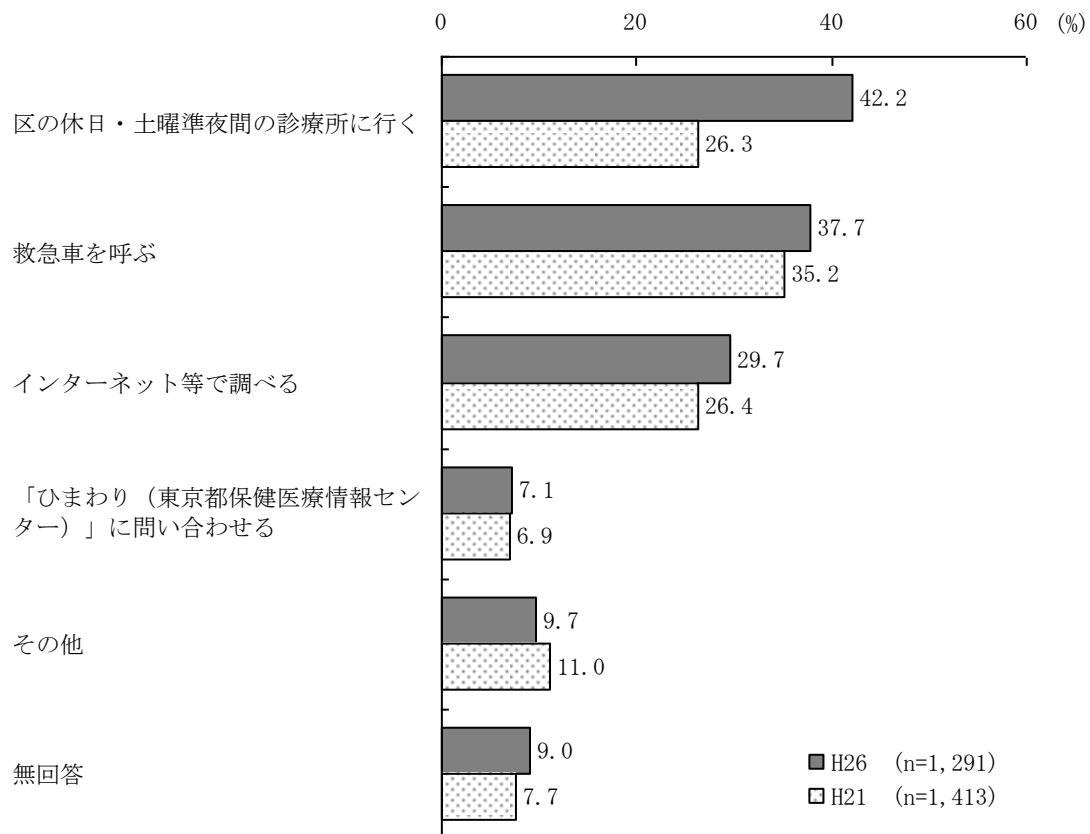
医療に関する情報として、知りたいことを聞いたところ、「休日・夜間に診療している医療機関」(45.1%)が最も高く、次いで「病気の治療に関する情報」(39.9%)、「医療機関の診療科目」(34.2%)、「救急病院の所在地」(27.6%)の順であった。前回調査と比較すると、「医療機関の診療科目」の比率は増加しているが、「休日・夜間に診療している医療機関」、「救急病院の所在地」、および「医療機関の所在地」は減少している(図6-8)。

## (5) 休日夜間診療

—急病の際、「区の休日・土曜準夜間の診療所に行く」と回答した人が大幅に増えている—

問35 あなたやあなたのご家族が休日や夜間に急に具合が悪くなり、医療機関を受診するとき、どのようにしていますか。(当てはまるものすべてに○)

図 6-9 休日夜間診療



休日や夜間に急に具合が悪くなり、医療機関を受診するときどのようにしているか聞いたところ、「区の休日・土曜準夜間の診療所に行く」(42.2%)が最も高く、次いで「救急車を呼ぶ」(37.7%)、「インターネット等で調べる」(29.7%)の順であった。前回調査と比較すると、「区の休日・土曜準夜間の診療所に行く」の比率が大幅に増加している(図6-9)。

年代別にみると、10代から60代では「区の休日・土曜準夜間の診療所に行く」の比率が4割以上で高くなっている。また、20代と30代では「インターネット等で調べる」の比率が高く、60代から80代以上では「救急車を呼ぶ」の比率が高くなっている(図6-10)。

図 6-10 休日夜間診療（年代別）

